



町のわだい

今月の題字 伊東 かえで 楓さん（豊間根小6年）

町ぐるみで「ごみ0作戦」 集めたごみの大半は「ポイ捨て」

町をきれいにし、美しい景観を守ろうと、町内一斉清掃「ごみ0作戦」が5月29日に行われました。自由参加型で行われたこの活動には、各地区の自治会や子ども会のほか、各家庭が主体的に参加。沿道や自宅周辺でごみ拾いを行う様子があちこちで見受けられました。収集された可燃ごみは約1ト、不燃ごみが約2トにのぼり、大半が空き缶やペットボトルなどのポイ捨てごみです。長崎地区で祖母と参加した田村日真莉さん(山田小2年)は「タバコのポイ捨てが多いです。大人もルールを守ってほしいです」とため息交じりに訴えていました。



豊間根小3年生が大豆の種まき体験 “秋の収穫が待ち遠しいです”

6月16日、豊間根小学校(富澤ひろこ校長・児童120人)では、同校近くの農地で大豆の種まき体験を行いました。食の大切さを知ってもらおうと「総合的な学習の時間」の一環で行われたもので、参加した3年生25人はゆたか農産やまだ組合(瀬川智宏とむひろ組合長)の組合員らの指導を受けながら種まきの手法などを学びました。作業は用意された約1.25畝の区画に尺度用ロープを使い等間隔に種と肥料をまいていくもので、1時間ほどで児童らがまいた種は約1,500粒。作業を終えた吉川綾香あやかさんは「おいしく育ててほしいです」と秋の収穫が待ち遠しい様子でした。

豊間根ハツさんが100歳に 長寿の秘訣は“野菜を食すこと”

6月17日に豊間根ハツさん(豊間根)が100歳の誕生日を迎えました。同日、佐藤信逸町長が自宅を訪問し長寿を祝福。「これからも元気で長生きしてください」とあいさつし、賞状を手渡しました。豊間根さんは、木戸口地区出身で、大工をしていた夫と23歳で結婚。4人の子供もと10人の孫、14人のひ孫に恵まれ、現在は、宮古市のデイサービスに通いながら二男家族と過ごしています。長寿の秘訣は野菜を食べること。「野菜が好きで、若いころ唯一苦手だったトマトも最近は食べられるようになりました」と、はつらつとした表情で話していました。

